

はままつじょうはっくつつうしん
浜松城発掘通信

Nº4

浜松市文化財課 2012年7月9日

今回の発掘調査での成果

今回の発掘調査では、天守門（てんしゅもん）の未調査地の南半分を調査しました。主に過去の調査で確認されている雨落溝（瓦を組み合わせた雨落受けの排水施設）と排水溝の接続部分の



雨落溝の出土状況

解明を目指しました。接続部分については、近年の開発によって、一部破損していましたが、当時のままで残存していることが確認されました。雨落溝は、平瓦の上に丸瓦を三段積み重ねて高さを調節し、水が流れるような仕組みとなっていました。また、接続部分は、石垣手前でほぼ直角に折れ曲がって配置されていることが分かりました。また、雨落溝を含む瓦をもちいた護岸施設は、何回かにわたって作り直していることも、確認できました。



発掘調査が終了しました

浜松城天守門跡での発掘作業は、6月28日（木）をもって終了致しました。調査区域はすでに埋め立て工事が終了しております。天守門跡の発掘調査を通して、安土桃山時代～江戸時代における浜松城の姿が思い浮かびます。これらの事柄は、きっと現場を見学された皆さんの心の中に生き続けていくと思います。

私たちは、本調査の成果を調査事務所に持ち帰り、瓦の接合・復元を始めとする整理作業や報告書の作成に取りかかります。今回の調査を通じて、近隣にお住まいの皆様には、いろいろとご迷惑をお掛けしたと思いますが、大変好意的に私どもの調査活動を見守っていただき、本当にありがとうございました。改めてお礼申し上げます。